

# すてきな仲間

きものを楽しみましょう

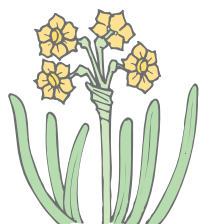
着物着付け教室

春日 竹花 まゆみ

私達の着付け教室は、毎月第二・四水曜日の夜、「御鹿の郷ふれあいセンター」で活動しています。上田のきもの学院で資格を取得された二人の先生に、参加者のレベルに合わせた指導をしていただいています。

基本は家にある道具を使って自分で着物が着られるようになること。年間の計画は、六月、八月には浴衣の着付けと帯結びを学びます。中学生だと四回ぐらいで一人で着られるようになります。九月からは結婚式や入学・卒業式等、目的に合わせた内容で学んでいます。また、仲間に着付ける練習もします。

和服というのは不思議で、自分の祖母の時代のものでなく違和感なく着ることができません。帯に小物を加えたり、襟に色物や柄物を使ったりすることでオシャレを楽しむこともでき、教室でもいろいろな体験をします。



会員の楽しみは、着物を着て出かける年二回の食事会です。年齢は違いますが、和服を通じていろいろな話に花が咲きます。自分で着物を着たい、娘さんやお孫さんに着物を着せてあげたい、そんな初心者の方大歓迎です。一緒に楽しみませんか。

## 佐久市乳幼児学級

### 平成20年度学級生募集

「私の子育て」について考える学習の場で、お子さんと一緒に参加していただきます。講座内容は絵本の読み聞かせ、救命救急、リズム体操、お絵かき、栄養と健康などです。



#### 場所及び曜日(原則)

本館教室	佐久市研修センター	毎月第1・3火曜日
浅間教室	浅間会館	毎月第2・4火曜日
野沢教室	野沢会館	毎月第2・4金曜日
臼田教室	あいとびあ臼田	毎月第1・3月曜日
浅科・望月教室	交流文化館浅科又は 駒の里ふれあいセンター	毎月第2・4木曜日

#### 開催日程

5月から12月までの全13回

#### 募集定員・対象者

佐久市在住でおおむね1歳半から入園前までのお子さんをお持ちの保護者の方  
各教室親子20組程度

#### 申込み日時

平成20年4月10日(木)9時～12時 ※定員になり次第締め切ります

#### 申込み先

本館・浅間・野沢教室希望者は… 佐久市公民館本館  
臼田教室希望者は…………… 公民館臼田地区館  
浅科望月教室希望者は…………… 公民館浅科地区館または公民館望月地区館

#### 申込み方法

直接申込みにおいでください(代理者可)  
電話・ファックスの申込みはできません

#### 参加費

無料(ただし材料費は参加者の負担となります)

■問合せ先 佐久市公民館本館 ☎ 64 - 0551

ちょっとひとこと

日々想うこと

岩村田 浅沼 勅夫ただお

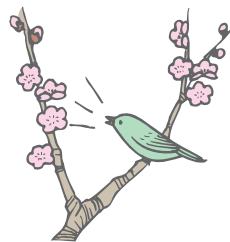
と寂しさを感じ、どうしたら地域の人達と交流できるかと想いを巡らせておりました。

こんな状況のなかで、自らが地域の輪に溶け込まない限り路は開けないことに気付き、地域の集会や行事に積極的に参加して談笑したり、酒を酌み交わして親交を深めるなかで、人の情や心の温かさに感動しました。

その後、地域の皆さんとも顔馴染みとなり地区や農業関係の役職を依頼されるまま、あれこれと引き受けることになりました。

人生経験のひとつと想いつつも慣れぬ仕事に戸惑うばかりですが、大勢の皆さんに支えられて日々努めております。

これからも多くの皆さんと交流を深めるなかで、共に手を携えて明るい街・地域づくりのお手伝いが微力ながらできればと想っております。



リレー随筆

自然とともに

志賀駒込 小平喜久子



23年前…山間地での暮らしを心配する両親を押して、自然豊かなこの地に嫁いで来ました。冬枯れした山あいに、こぶしや山桜が咲き春を告げます。鶯、カッコウの鳴き声、目に染みる新緑の木々。夏には蛍が飛び交い、子供達が川で山女魚や岩魚とりに興じています。

秋には、まわりの山々が、赤や黄色に染まり、抜けるような青い空と紅葉はとても美しいコントラストを見せてくれます。そして寒くて長い冬。ご近所で頂いた白菜や大根で姑から教わった漬け物を漬けて冬支度を行います。東の山から昇る初日の出に一年の無事を祈り新しい年の始まりです。一年として同じ景色はなく、時には自然の厳しさもあります。人の暖かさに支えられ、四季折々の豊かな自然の中で野山を駆けまわり、川遊びに明け暮れた3人の息子達も高校生、大学生となりました。子供達が巣立つまでこの地で自然とともにもうひと頑張りです。

人権シリーズ

雪の朝のできごと

朝、カーテンを開けると一面の銀世界。「さあ忙しくなるぞ」それでも忙しい朝が今朝は一層慌しくなりました。雪かきという大仕事があるからです。

我が家は通りに面して出て出勤する人や登校する小中学生が歩道を大勢通ります。通る人が歩きやすいように近所の皆さんと除雪に心がけています。

「おはようございます」中には「有難うございます」と挨拶してくれる中学生もいてその日は気持ちの良い一日となります。

ある雪の日曜日、K小学校へ続く随分長い距離の歩道を四、五年生位の小学生とお父さんがなにやら話しながら雪かきをしていました。心温まるいい光景でした。雪かきの済んだ歩道はここだけ早く解けていました。

ある大雪の朝、白田橋の歩道を一生懸命除雪しているおじさんがいました。「もうしばらくすると朝早い中学生が登校してくるからな」といながら汗を拭っていました。家の前の除雪だけで手一杯の私は「凄い人があるんだ」とガツーンと頭をたたかれた思いでした。

先日、犬の散歩をしていましたらシルバーカーを押して来るお年寄りを見かけました。散歩に来られたのでしょうか。ほっかぶりをして雪の解けきらない凍った歩道を恐る恐る歩いていました。きつと雪かきがされなかつたのでしよ。凍った道はいつまでも解けそうにありません。除雪のしてあるその先はもうすっかり解けて安心して歩ける歩道になっていました。私たちがまだ小さかつた頃は、車の少なかつた時代でしたが、大雪が降ると薄暗いうちから村中の大人が雪かきを持って集まり、学校や駅への道を丁寧に雪かきをしてくれたことを覚えています。雪かきの済んだ朝の道を地域の人たちに感謝しながら歩きました。いつの頃からか大勢で除雪する姿は見られなくなりました。

雪の日のできごととは私の心を温かく優しくしてくれました。私たちは、目に見えない気が付かない様々な場面で、地域の皆さんに支えられて生きていることを実感します。

(人権同和教育推進員 井出淑子)